



← 荊崎市公式HP
愛育班のページも
チェック!!

荊州市の皆さん！ 愛育会では、地域の皆様への「声かけ」「見守り」を通して、母子から高齢者の方までの健康づくりのお手伝いをしています。

愛育のこころを次世代につなぐ

会長 山本幸子

「愛育の灯を消してはいけない」という先人の努力により、荊崎市愛育会は今年30周年を迎えることができました。「声かけ」「見守り」を合い言葉に、各町ごとに活動を実施してきましたが、近年は、様々な事情から班員選出に苦慮する自治会も出てきました。そこで思い切って町の活動を市に集約し、1年が経とうとしているところです。

地域の方々が安心して暮らしていけるよう、「声かけ」「見守り」を基本として、愛育のこころを次の世代に繋げていきたいと思っています。

愛育会設立30周年記念『こそだて応援隊バッジ』

荊崎市の子育て支援マスコットの土偶である「ミスいしのつぼ」と、私たちをいつも見守ってくれている「平和観音」をコラボさせ、荊崎市で子育て中のみなさんを応援したい!!という思いを込めて『こそだて応援隊バッジ』を作成しました。子育て中のみなさんを応援しているよ!!というメッセージを送れたらと思います。



愛育会設立30周年記念子育て支援講演会

NPO法人ちびっこはうす理事長 内藤香織先生を講師に招き、講演を聞きました。「荊崎には駅がある、インターがある、そしてにら★ちびがある」という山本会長の言葉 核家族、ひとり親家庭が増加傾向にある昨今、子育てに寄り添うことのできる、にら★ちびに足を運んでいただき、悩みを相談したり、ホッと安心できる場所なんだということを知っていただきたいです。<大草町班員>



数十年前県外から来た時、右も左もわからず、知人もいない状態で出産・子育てしてきました。散歩を兼ねて外に出ると、同じような親子がいたので「こんにちは」と声をかけて話をしているうちに、子供が同じ年齢だとわかって意気投合しました。気付かぬうちに愛育の基本である「声かけ」をし、それだけ身近にある事、そうした一歩がとても大事だと式典に参加して強く感じました。<円野町班員>



矢崎顧問、越石顧問が表彰されました！！

○矢崎清香 顧問

第56回愛育班員全国大会 全国会長表彰を受賞



○越石奈津美 顧問

第67回山梨県愛育連合会愛育大会 知事表彰を受賞



お二人の長年の功績が認められた、うれしい1年となりました。私たちも誰もが住みやすい地域を目指し、できる活動を細く長く続けていこうと思います。



班長研修:認知症サポーター養成講座を受けました

私の亡き祖父は、生前認知症になり、どこにでもお金を隠し、それを忘れて、「盗まれた!」「盗られた!」と騒いで大変でした。祖父と一緒に暮らしていた父と母は大変だったと思います。講習を聞いて感じたのが、本人だけでなく、一緒に暮らす家族のケアも必要だと思いました。

なかなか難しい問題ですが、周りが、とにかく話を聞いてあげる!それが大事だと思いました。



<穂坂町班員>

すくすく教室に協力しました

愛育の活動をお知らせし、グッズをお配りしながらお話しました。子育ては大変。でも7か月の赤ちゃんは



どんな表情でもかわいくて楽しませてくれます。抱っこしたときはホンワカ!

幸せをプレゼントされました。

<神山町班員>



「にら☆ちびフェスティバル・にら☆ちびまつり」に協力しました

どちらも沢山の親子にご参加いただき、それぞれ笑顔溢れる一日となりました。夏のにら☆ちびフェスティバルでは手作りフラッグ🚩を子供達と一緒に作成しました。その後作ったフラッグを誇らしげにパタパタさせながらはしゃぐ子供達の姿に思わず目を細めました。



韮崎市にこうして子供達が子供らしく笑顔で安全に過ごすことが出来る「居場所」があることが誇らしく、そしてこの環境を守っていかなくてはなと思いました。

<藤井町班員>

子育て支援センターへ 大型絵本プレゼント&読み聞かせ会

子育て支援センター にら☆ちびへ大型絵本のプレゼント&読み聞かせ会を行いました。沢山の親子が集まって「おめでとう」のお話を楽しく聞きました。



男性愛育班員の手記:愛育会活動に参加して

「愛育会」という言葉は耳にしていたのですが、実際どのような活動をしているのか、全く知らないまま、妻の代わりに参加することになったのですが、女性だけの集まりだと思っていたので、とても緊張していたのを覚えています。愛育会の役員さんが「男性でも大丈夫ですよ」と笑顔で迎えてくれました。この会の活動が、地域住民全てが健康で暮らせるそのために、地域で支え合うこと、声かけをして孤独や不安を軽減するなど、多面にわたっていることも知りました。

今、男性が子育てに参加することが推奨されています。男性でもこの会に参加し、日常の中で人を思いやる気持ちや地域の方に声かけなど、「愛を持って地域隣人に接し、心を豊かにする活動」を知ることが、一歩目になるのではないのでしょうか。

